

しぜんはくぶつえん
自然博物館 通信

No.009

国営滝野すずらん丘陵公園 滝野管理センター発行

今月のトピック：暗い森に咲く白い花

今年も「シラネアオイと春の野の花まつり」が終わりました。今年も開花期間がばっちりまつり期間と重なってくれました。残念ながら天気が悪い日が多かったのですが、雨でも見に来てくれている方がいました。まつり期間が終わった途端いい天気が続く、シラネアオイは一気に散り始め森の中は葉っぱが増えてどんどん薄暗くなってきました。これから先シラネアオイのような大きな目立つ花はなくなりますが、この薄暗い森の中では小さくて白い花をたくさんつけた花が増えていきます。足元ではユキザサやマイヅルソウ、ズダヤクシュにクルマバソウ。膝のあたりではコンロンソウやヤマシャクヤク。目線の高さではオオハナウドが目立ってきます。また頭の上ではシウリザクラというサクラの仲間も咲き始めます。さらに6月後半になるとヤチダモに巻き付いたツルアジサイが大量の花をつけた白い柱も楽しんでいただけます。薄暗い森の中では白い花がとても目立ちます。人にも目立つので虫たちも見つけやすいでしょうね。



オオハナウド



コンロンソウ



ユキザサ

5/27 田植えを行いました！！

自然博物館のある場所は、明治時代に人が入植し馬を飼って米を作ったりして生活をしていました。現在田んぼがある場所には家があり実態田んぼとして使われていたようです。平成22年に開園するに当たって田んぼを復元し、現在まで毎年田植えを行っています。今年も5/27に滝野の森クラブボランティアとお客様が一緒に田植えを行いました。この先農薬などは使わず自然な形で米を育てて生き物たちと共存しながら秋の収穫まで米作りを進めていきます！

(田んぼで生き物の観察等する際は、田んぼに入ったり苗に網をぶついたりしないようご注意ください)



今月の森の様子

◆今月見られる野草

コンロンソウ、ノビネチドリ、サイハイラン、コケイラン、マムシグサ、ユキザサ、マムシグサ、フデリンドウ、クマバツクバネソウ、ツクバネソウ、クマバソウ、ベニバナイチヤクソウ、ジガバチソウ、ササバギラン、ギンラン、オオハナウド、ヤマシャクヤク、オオバタケシマラン、ホウチャクソウ、ジンヨウイチヤクソウ、ズダヤクシュ、ホオノキ、シウリザクラなど。

◆今月見られるいきものたち

カナヘビ、アオダイショウ、ジムグリ、シマヘビ、エゾアカガエル（幼生）、エゾサンショウウオ（幼生）、サッポロマイマイ、オカモノアラガイ、シオカラトンボ、モイワサナエ、ニホンカワトンボ、ミヤマカラスアゲハ

オオバタケシマラン



サイハイラン



ジムグリ



【今月のオススメプログラム】

◆6/3（日）～27（水）までの毎週水日 森のガイドツアー

ボランティアガイドが少人数ごとに案内。この時期はガイドがつかないと気づかない魅力がたくさんです！

10:30～12:00/13:00～14:30 参加費：無料 定員：20名/回

予約：滝野管理センター 011-594-2222 もしくは HP から

◆6/23（土） 滝野の森生き物探検隊

田んぼにいる生き物を探しましょう！この時期ならではの生きものが見つかるかも！？着替え必須です

10:30～12:00 参加費：無料 定員：無

滝野の森の情報については「滝野の森メールマガジン」や「滝野の森 staff twitter」でも更新中です。

★滝野の森メールマガジン：「滝野の森メールマガジン」で検索。

★滝野の森 staff twitter：<https://twitter.com/takinonomori>

滝野の森ゾーン西エリア しぜんはくぶつえん 自然博物館 とは・・・

国営滝野すずらん丘陵公園の中にあるエリアの1つ。2010年OPEN。テーマは「北国の人と自然の共生」
開拓や入植の歴史を持つ場所にできた森で、シラネアオイを始めとした400種以上の山野草や樹木、野鳥、昆虫などを観察できるほか、田んぼを使った体験プログラムや沢あそびなどもでき、自然をより身近に感じることができるエリア。拠点は森の情報館。最寄りの駐車場は「滝野の森口」

【利用案内】

〒005-0862 札幌市南区滝野 247 TEL：011-592-3333 グリーンシーズン開園期間：4/20～11/10

滝野公園 HP：<http://www.takinopark.com/>